Multi LABELIST Component

.NET 10 利用手順

株式会社サトー

2026年10月27日

はじめに

本マニュアルでは Multi LABELIST Component（以下、MLComponent）を.NET 10 アプリから利用可能にする手順について説明します。

ご注意

- 本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

- SATO、Multi LABELIST は、株式会社サトーの登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

対象バージョン

このドキュメントは下記のソフトウェアおよびバージョンを対象としております。
ご利用のバージョンによって対応機能の過不足や内容変更の可能性があることを予めご了承ください。

Multi LABELIST Component	Ver.6.2.6.0 以降
Visual Studio 2026	

目次

はじめに 2

ご注意 2

対象バージョン 2

第 1 章 .NET 10 利用手順 4

1-1. MLComponent 5

■利用時の留意点 5

■利用手順 5

1-2. FAQ 9

第１章

.NET 10 利用手順

1-1 MLComponent

■利用時の留意点

.NET 10 アプリで MLComponent を利用する際は、以下の点に留意してご利用ください。

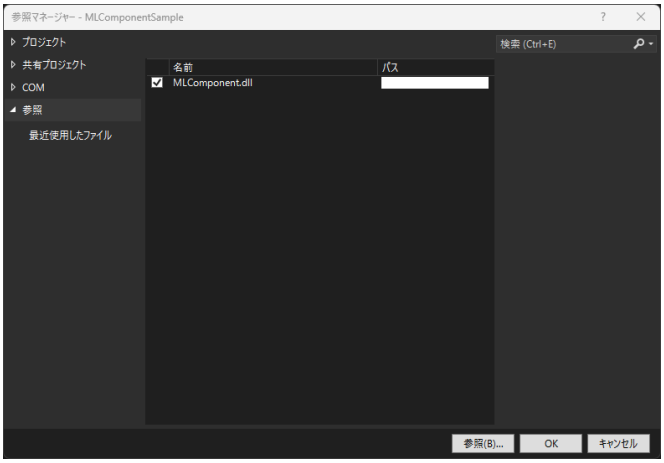
- Ver.6.2.6.0 以降を使用してください。
- MLComponent は「.NET Framework 互換モード」で動作します。事前に十分な動作確認を行ってください。
- 利用環境は Windows 専用です。クロスプラットフォーム対応はできません。
- ARM 版 Windows はサポート対象外です。
- Visual Studio の単一ファイル発行（PublishSingleFile）は利用しないでください。

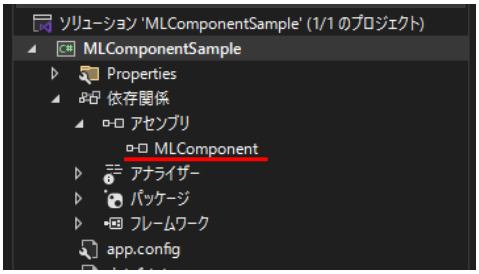
■利用手順

Visual Studio を開き、「Windows フォーム アプリ」でプロジェクトを作成します。
フレームワークは「.NET 10.0 (長期的なサポート)」を選択します。

MLComponent をプロジェクトに追加します。

- 「プロジェクト」＞「プロジェクト参照の追加」を選択します。
- 「参照」ボタンから MLComponent.dll を選択し、「追加」を選択します。
- 「参照」タブに MLComponent.dll が追加されていることを確認し、「OK」を選択します。
- プロジェクトの依存関係＞アセンブリに MLComponent が追加されたことを確認します。



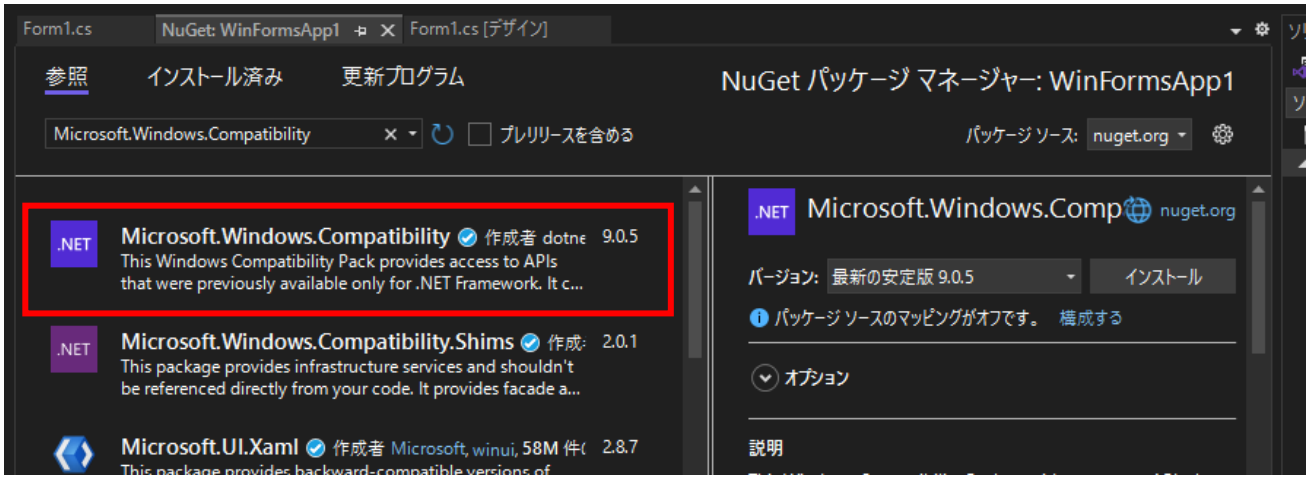


注意

既存の.NET Framework プロジェクトを Visual Studio のアップグレードアシスタントを使用して.NET 10 にアップグレードすると、MLComponent がプロジェクトの参照から外れることを確認しています。上記の手順で MLComponent を再度プロジェクトに追加してください。

.NET Framework のライブラリを使用するため、Windows 互換機能パックを適用します。

- 「プロジェクト」＞「NuGet パッケージの管理」を選択します。
- 「参照」タブで「`Microsoft.Windows.Compatibility`」を検索してインストールします。



- 「参照」タブで「`System.Runtime.Serialization.Formatters`」を検索してインストールします。



`System.Runtime.Serialization.Formatters` を有効にするため、設定をします。

- 「ソリューションエクスプローラー」＞プロジェクトを右クリック＞「プロジェクトファイルの編集」を選択し、<PropertyGroup>タグの中に以下のコードを追加します。

```
<Project Sdk="Microsoft.NET.Sdk">
  <PropertyGroup>
    <EnableUnsafeBinaryFormatterSerialization>true</EnableUnsafeBinaryFormatterSerialization>
    ...
  </PropertyGroup>
  ...
</Project>
```

MLComponent のインスタンスを生成します。
インスタンス生成の前に以下のコードを追加します。Shift-JIS エンコーディングを使用するために必ず記述してください。

```
<C#>
using System.Text;


Encoding.RegisterProvider(CodePagesEncodingProvider.Instance);
mlcmp = new MLComponent();
```

```
<VB>
Imports System.Text


Encoding.RegisterProvider(CodePagesEncodingProvider.Instance)
mlcmp = New MLComponent
```

MLComponent のバージョン情報表示を例に、動作確認を行います。アプリ起動時に MLComponent のバージョン情報がダイアログで表示されることを確認します。

<C#>

```
using System.Text;
using SATO.MLComponent;

namespace WinFormsApp1
{
    public partial class Form1 : Form
    {
        private MLComponent mlcmp;
        public Form1()
        {
            InitializeComponent();
            Encoding.RegisterProvider(CodePagesEncodingProvider.Instance);
            mlcmp = new MLComponent();
            MessageBox.Show(mlcmp.Version);
        }
    }
}
```

<VB>

```
Imports System.Text
Imports SATO.MLComponent

Public Class Form1
    Private mlcmp As MLComponent
    Private Sub Form1_Load(sender As Object, e As EventArgs) Handles MyBase.Load
        Encoding.RegisterProvider(CodePagesEncodingProvider.Instance)
        mlcmp = New MLComponent
        MessageBox.Show(mlcmp.Version)
    End Sub
End Class
```

以上で手順は完了です。以降は、リファレンスマニュアルやサンプルプログラムを参考にラベル発行処理を作成してください。

1-2 FAQ

Q	**.NET アプリで使用できない機能はありますか？**
A	.NET アプリで使用できない機能は現状確認されていません。ただし、.NET アプリで MLComponent は「.NET Framework 互換モード」として動作します。事前に十分な動作確認を行ってください。

Q	**MLComponent のインスタンス生成で例外が発生します。 MLComponent の Output メソッドでエラーコード 51, 52, 202 が返送されます。**
A	以下の点をご確認ください。 ・Ver.6.2.6.0 以降を使用している ・MLComponent がプロジェクトに追加されている ・プロジェクトに Windows 互換機能パックが適用されている ・プロジェクトに「`System.Runtime.Serialization.Formatters`」が適用され、プロジェクトファイルにタグを追加している ・MLComponent のインスタンス生成前に「`Encoding.RegisterProvider(CodePagesEncodingProvider.Instance)`」が記述されている

Q	**既存の.NET Framework プロジェクトを Visual Studio のアップグレードアシスタントで.NET 10 に移行すると、MLComponent の参照が外れてしまいます。**
A	アップグレードアシスタントの制約事項と考えられます。お手数ですが、プロジェクトに再度追加し直してください。

Q	**開発した.NET アプリをマルチプラットフォームで使用できますか？**
A	使用できません。MLComponent は Windows 専用です。

Q	**開発した.NET アプリを ARM 版 Windows で使用できますか？**
A	ARM 版 Windows はサポート対象外です。